

年間授業計画 (シラバス)									
学年	2	学科	全学科	単位	2	教科	数学	科目	数学 I
学習教材	<ul style="list-style-type: none"> ・数学 I Progress (実教出版) ・Prominence 数学 I+A (実教出版) 								
学習目標	図形と計量、集合と論証およびデータの分析について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。								
単元と学習内容									
1 学期	図形と計量 <ul style="list-style-type: none"> ・三角比 ・三角比と図形の計量 			<ul style="list-style-type: none"> ・直角三角形において、三角比の定義を理解し、正弦・余弦・正接を求める。 ・正弦定理や余弦定理を用いて、三角形の辺の長さや角の大きさを求める。 					
2 学期	データの分析 <ul style="list-style-type: none"> ・データの分析 			<ul style="list-style-type: none"> ・データを度数分布表に整理する。また、平均値や中央値、最頻値などの定義や意味を理解し、それらを求める。 					
3 学期	集合と論証 <ul style="list-style-type: none"> ・集合と論証 			<ul style="list-style-type: none"> ・集合を視覚的に表現して処理することができる。 					
評 価									
評価の観点		到達度目標 [「B」(おおむね満足できる)の規準]			評価のフィードバック				
					1 期末	2 期末	学年末		
①	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・数学における基本的な概念や原理・法則などを体系的に理解している。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。 			○	○	○		
②	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。 			○	○	○		
③	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしたりしている。 			○	○	○		
評価方法	①			②			③		
	㊦定期考査 ㊧副教材 ㊨グループワーク等			㊦定期考査 ㊧副教材 ㊨グループワーク等			㊦副教材 ㊧グループワーク		